

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所理念を事業所内に掲示しサービスの実施時に献身的に取り組んでいる。			職員間での理念の共有。サービス提供時に振り返りを行う。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナウイルスの影響の為、地域との交流の頻度は減少したが地域の一員として挨拶などの交流を行っている。	5類に変更になってからの状況。		変更前とあまり変化がみられない。感染対策は継続して実施している。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2か月に1度、施設内にて開催を実施し、意見を賜っている。	機会が合えばお互いの運営推進会議に参加している。		感染予防をしたうえで、施設内にて開催し、意見を賜る。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議及び家族会の議事録を毎回提出し事業所の近況や訪問時に近況を報告している。	今後の市町村との連携について		災害発生時の協力や研修に参加する。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「身体拘束廃止委員会」を設置。研修を開催している。職員一丸となって身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修テーマの設定や書類整備・指針が整備されており、職員間での共有も出来ている。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	委員会を設立し、委員を中心に半年に1度研修を開催して、職員間で注意喚起を行い防止に努めている。会社としてマニュアルや指針を整備されている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	監視カメラ等はないが、職員の状況、利用者様の心身の変化に気を付けている。半年毎に高齢者虐待・障害者虐待のテーマにて研修を実施している。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月開催している施設内会議の研修テーマとして取り上げている。			成年後見人制度を利用されている方もいるので、もう少し知る機会があったほうが良いのではないかと。

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約時・解約時・改定時の際はその内容を十分に説明する時間を確保している。			特に問題なし。
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	2ヶ月に1度の家族会を開催して意見や要望を傾聴することを実施しているが中々参加頂けない。来設時や電話にて近況を報告時に意見を賜っている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約者に向けた満足度調査を実施させていただき、運営における課題や評価をいただいている。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	月1回の業務ミーティングとユニット毎のカンファレンス・定期面談の実施にて、職員が意見・疑問・提案事項を主張できる機会を設けている。			今後も職員全員で話し合っていけるカンファレンスや会議、研修の実施をすること。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	年1回以上職員全員を対象に、個別面談を開催して職員の考えやモチベーションについて話を伺っている。職員の能力に応じたステップアップ出来る制度がある。運営状況評価による職員への還元もある。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ステップアップ制度の説明。処遇改善一時金についての説明を実施。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	新人職員を対象とした研修や外部研修参加を施設内会議の場にて提案している。OJT制度の実施している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	勤続期間毎における面接実施や社内研修について説明。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	同社内での交流はみられるが、同業者の交流は機会が限られている。			他施設や他サービスを学べる貴重な機会なので、なるべく多くの職員が経験できるようにすること。
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	共同作業を通じて一緒に取り組んでいただくように関係を構築している。傾聴支援や寄り添い支援を大切にしている。			全ての職員ができているとは言えない為、先輩職員を手本にしながら、グループホームらしさを学ぶ。お一人お一人出来る事を考えて実施すること。

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	関係が途切れないように手紙のやりとりやオンライン面談、外出支援など実施して対応しているが、コロナの影響もあり、機会は減少している。	ご家族、ご親族との交流にとどまっている。ご友人もご高齢な場合が多くなかなか交流にまでは至っていない。		入居時に馴染みの人や場所で交流を持ち続けることができることを伝え支援に繋げていくこと。
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	話を傾聴し、出来る限り意向を把握して支援している。本人の意向が安全を損ねるものでなければ、付き添って様子観察し、無理に制止しない。			全ての職員ができていない為、先輩職員を手本にしながら、グループホームらしさを学び、実践できるようにしていくこと。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. <input checked="" type="radio"/> 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期カンファレンスにて意見をまとめ、本人がよりよい生活が送れるように現状に即した介護計画の作成に努めている。一人ひとりに担当者を設置し、日常生活の把握に努めている。	グループホームで穏やかに生活されている場合、3ヶ月で状況が変わっていないことも多い。	A. <input checked="" type="radio"/> 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	3か月に1度のカンファレンスの実施や、日常生活支援シートを担当職員が記入を行い、状況把握に努めている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. <input checked="" type="radio"/> 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員にサービス提供状況を介護記録にキチンと書き残すように指導し、実施されたサービス内容や量が適正か確認できるようにしている。		A. <input checked="" type="radio"/> 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護記録に記録を残せている。管理日誌を活用し情報伝達している。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ニーズが変化した際は随時カンファレンスを開催して、柔軟に対応するようにしている。	社内のルールにより職員が運転する車で移動ができない為、気軽に外出できない。通院もタクシーで行うので多くの方はご家族に通院していただいている。		社内のルールが多い分マニュアルやコンプライアンスもしっかりしている。安全・安心の為に、しっかりとルールを守りながら、なるべく柔軟に対応できるようにしていくこと。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <input checked="" type="radio"/> あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナの影響もあり、地域との協働は実施できていない。事業所内で活動できる内容(家事活動、畑活動等)で役割を見つけ発揮できる機会を設けている。	コロナの影響もあってなかなか難しい現状である。		利用者様お一人おひとりにとって必要なことは続けていけるように支援していくこと。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. <input checked="" type="radio"/> 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月2回の定期往診、週1回の訪問看護に加えて体調不良が発生した際は電話やFAXを利用して状況を報告している。			引き続き心身の状況に応じて適切な医療が受けられるよう支援していくこと。

				個別の受診記録や管理日誌に状況の申し送り事項を記入し、職員間で共有している。 懇意にしているかかりつけ医がいる場合関係が続けられるように支援している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入院時に介護サマリーの提供を行い、都度の連絡を実施。 退院時に看護サマリーの内容と留意点を正しく把握して対応できるように、提携医及び訪問看護と連携している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入退院時の状況を介護支援経過に記入し対応している。 月2提携医往診時や定期的な訪問看護時に報告出来ている。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時に当施設の方針とターミナルケアについて説明・同意をいただいている。 また重度化した場合には、医師の許可があればご本人及びご家族の入居継続の意思を尊重しながら、訪問看護を活用した対応を検討することを説明している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時の重度化した場合の指針について説明している。 医師・本人・ご家族・施設側でのターミナルについての検討をしている。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	急変・事故発生時に職員がとるべき行動規範が、社内マニュアルとして整備されている。 年1回以上、マニュアルに沿ったかたちで研修を実施しているが職員間で理解度の差がある。 急変時は管理者、ご家族様への連絡を義務づけている。			管理者不在の時の対応に課題があるので今後の業務ミーティングでしっかりと話し合うこと。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	火災や地震、水害など災害時に職員がとるべき行動規範が、社内マニュアルとして整備されている。 年に2～3回程度マニュアルに沿ったかたちで訓練を実施している。 地域の防災研修にも機会があれば参加している。	介護度が重い方の避難はどうするのか。 災害時の備蓄品の備えは。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	マニュアルが整備してある。半年に1回訓練を実施し利用者様の様子を確認している。 備蓄品も水や食料、生活物資を3日間分用意はしてある。

				BCPも整備されており、定期的見直しを実施している。 コロナになり地域の方との協力体制は希薄になってきている。			
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員一人ひとりが意識し、人格を尊重した声掛け支援をしている。 スピーチロックの研修も実施している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	業務を優先せず、バランスよく対応を実施すること。 研修も実施出来ている。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が業務優先にならないように指導している。 入居者様の希望にできるだけ沿いながら生活してもらえよう、職員が個々の入居者様の生活ペースを把握するとともに、本人の気持ちを傾聴している。			日中は早遅の2人対応でお風呂や食事の時間は決まってしまうている。本人たちの希望に沿った生活ペースが提供できるように検討案を考えていくこと。
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の献立は決まっているが四季を感じる食事や誕生日会、レク活動などで楽しみになるようなものを提供している。 介護スプーンの活用など本人が出来る限り楽しめるように工夫している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様ができる事には一緒に参加出来ている。 季節の食べ物なども提供出来る。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	体質や体調を考慮して実施している。 介護記録に水分量の記載がある為、活用し水分摂取量のコントロールを実施している。 体調に合わせて栄養補助食品の使用やミキサー食も支援している。			引き続きお一人おひとりの心身の状態や咀嚼、嚥下機能に配慮した食事の形態を工夫していく。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	状態に合わせて舌ブラシやスポンジブラシの使用。 毎食時、起床・就寝前にADL、状況に合わせた支援を実施している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	提携している歯医者さんの資料を下に周知させている。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	各状態に合わせた排泄支援の実施。 定期の誘導や習慣を考え支援している。 便秘時には職員間で申し送りをを行い、早期解消に向けて支援している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	プライバシーに配慮した支援が出来ている。 便秘時には頓服薬を使用する、主治医や看護師に相談するなどして対応している。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	共同生活の為、本人の希望に添えない部分もあるが、定期的な入浴ができるように支援している。			ゆっくりと入浴を楽しんでいただけるように支援していく。
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人の希望や意向を傾聴し、休息支援を実施している。 褥瘡予防や浮腫軽減等、状況に合わせて支援を実施している。			医療関係者と相談しながらなるべく眠前薬を使わないような支援方法を考えていくこと。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	服薬(用途・目的・副作用)について職員に周知させている。 症状の変化等様子観察を行い、事故の予防、提携医に相談、報告を実施している。 新規薬や臨時薬が処方された際は提携薬局の薬剤師がセット、説明を実施している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	服薬ファイルの活用 提携薬局による薬の説明やセット支援、臨時薬が処方された際は管理日誌に記入や申し送りをを行い、対応出来ている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナの影響もあるが、個々の生活歴や状態を把握し、レク活動や家事活動、趣味活動(裁縫、作品作り)など支援している。	コロナの状況なのでホームの中で楽しむことが中心になっている。 外出支援はなかなか実施出来ない。		毎月イベントを開催し、それを楽しみに日々過ごせるよう支援していく。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナの影響もあるが、天候が良い日はテラスにて日光浴や散歩をし、畑活動に参加している外出支援はご家族様の協力にて対応している。	面会は玄関先でマスクをしたうえで行っていただいている。 ご家族様の対応にて外出支援や許可がおりれば出来る範囲で支援している。		毎月イベントを開催し、それを楽しみに日々過ごせるよう支援していくこと。

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者が個別にお金を所持することは禁止させていただいていることを、利用契約締結の際に説明している。 ただし、外出行事や日用品の買い出しに行く際に、個人のお金をお渡しして使用してもらうように促している。 金銭を使用する機会は少ない。			日用品はおこづかいで購入し、機能訓練も兼ねて一緒に買いに行くことはある。服や靴に関しては基本的にご家族に相談しながら購入している。
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年賀状や暑中見舞い等を記入していただく機会を設けている。 電話はご家族から了解をいただいた範囲で、利用者本人の希望がある時に取り次ぎ支援をしている。 携帯電話を使用できる方は持ち込みを許可している。			面会の頻度や外出許可を周知する機会を増やす。
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	常に清潔に努め、換気を頻繁に行うなど、快適な環境整備に留意している。 季節を意識した飾り物や作品作りを入居者様と一緒に行うようにし、季節の移り替わりを感じてもらえるようにしている。 馴染みの家具を持ち込むことで安心できるように配慮している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節の作品を掲示し、雰囲気作りに努めている。 慣れ親しんだ家具を持ち込んでもらう事で過ごしやすいうように配慮している。

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人様の主訴を傾聴して、思いや願い、暮らしの希望をできる限りかなえられるように支援している。			本人様の主訴を確認し、日々の暮らしを支えていくこと。
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アセスメントシートの活用や傾聴する事で情報を収集しているが、コロナの影響もあり制限がある。来設時の面会や外出のおでかけなど関係が途切れないように支援している。			入居後もしっかりとコミュニケーションをとりながら、習慣や好みを活用した支援の実施。

42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月2回提携医往診や週1回の訪問看護の実施等で健康面・医療面の支援、介護記録や本人からの傾聴にて、安全面・環境面に配慮した支援を実施している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	提携医による往診や訪問看護の活用により、安全面・環境面に配慮した対応ができている。 本人が自分で伝えられる場合は本人からも伝えていただくよう支援している。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の生活ペースを尊重し、暮らしにあった生活が送れるよう支援している。			車イスで自走の方も自由に移動できている。 引き続きご自身のペースで生活していただけるように支援していくこと。
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	馴染みの家具や大切にしているもの、写真、趣向品などを持ち込むことを許可している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お仏壇など、ご家族様の許可を確認し、馴染みのものをお持ちいただいている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナの影響もあり、状況に左右されるが散歩や外気浴、事業所内のイベントを実施している。ご家族との協力により戸外の外出も許可している。	希望に応じ家族同伴にて許可している。		引き続き感染予防に努めながら外出する機会を増やしていく。
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ADL や状況に合わせた傾聴や活動を実施しているが個人差が大きい。			日々の生活の中でできることを探しながら個人に状況を考えて出来る支援を考えていく。
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者様同士の交流や家事活動などを通じて発揮できる様になっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節のレクや家事活動等で発揮している。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前は交流する機会があったがコロナの影響もあり、挨拶を交わす程度の交流のみである。	散歩中は地域の中で生活していると感じる時間である。近隣の方には利用者様と一緒にあいさつすることを心掛けている。		

49	総合	<p>本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている</p>	<p>A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>コロナの影響も徐々に減りつつあるが、以前のような状況には戻れていない。施設内でやれる事を考え、一人ひとりが安心して日々が過ごせるように支援していきたい。</p>	<p>コロナの規制も緩和されたが、以前のような生活錠状況には戻れてないにしろ、徐々に戻っていききたい。</p>	<p>A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>一人ひとりの状況を考えた支援を実施。 面会や外出する機会を増やして交流できる機会を増やす。</p>
----	----	---	--	---	---	--	---